

令和4年5月28日 議会報告会 質疑応答一覧 総務市民委員会所管分

項目	質疑	回答
災害時等要援護者 支援事業	<p>支援について市と支援を結んでいるところに、市に通じる防災ベルなど何か手立てはあるのか。市からの援助がない、何のための協定かと思うが。</p> <p>取り組みをしたなら、何らかの方法で高齢者との連絡が取れるようにしなければならないのでは。区長、民生委員が回っているが、市と協定を結んでいるから支援はよい、と言われる場合もある。</p>	<p>この事業は、要援護者を地域と支援者が一体となって助け合うものです。まず状況は市内82行政区のうち、35行政区、7コミュニティのうち、4コミュニティが協定を結んでいます。取り組みとして、要援護者からの登録内容を避難支援として地域担当の民生委員さんに情報提供をしています。登録者は1月時点で、1626人に対し、支援者は508人と30%程となっています。今後も、この制度の周知や支援者の登録増や危機管理についてより良い方向になるように議会でも議論を深めてまいります。</p>
共助社会	<p>コミュニティの課題、共助社会づくりと書いてあるが、健康、福祉、教育などの課題について公助だけでなく、共助社会づくりを進めていこうと理解しているが、共助社会を担うひとづくりについて触れられているが、答弁の内容が理念的、概念的なので、市民の自立、地域の自治促進や拡大など具体的、積極的な仕組みづくりなどあったら紹介してほしい。</p>	<p>代表質問は、将来市がどうあるべきかという方向性について聞くため、具体的な事例については入っていない。議員活動の中で、将来の共助社会づくり、自助、共助、公助など、議会として具体的な取り組みについては提示していきたい。質問を預かって、課題とさせていただきます。</p>
避難所運営	<p>危機管理について、山家は8割が山林であるが、近年大雨、洪水などの自然災害などで、避難所の開設が増えた。避難所の運営について、女性に対しての運営について、授乳やプライバシーの確保など、デリケートな問題もあり、男性ではわからないところもある。行政を見ていると、女性が危機管理課に登用されていないところもあると聞いたが、その辺について、どのように考えているか。</p>	<p>避難所運営について、女性の意見が重要視されており、会議の中で女性が入るようにしているため、所管課とも話していきたい。</p>

令和4年5月28日 議会報告会 質疑応答一覧 文教福祉委員会所管分

項目	質疑	回答
児童の性教育	先日、テレビで小学校3年生の性教育、プライベートゾーンを考えるをやっていましたが、筑紫野市では始まっているのか。県の指導は。	プライベートゾーンは、体育の時に着る水着で隠れる部分を想定し、大切にする範囲として学ぶもの認識している。本市で行っているかどうかは、学校の調査をしないとわからないので、文教福祉常任委員会の所管事務調査で取り組んでいく。
子どもたちの遊び場	子ども達の遊び場について、プレーパークの開設などの検討はされてないのか。	プレーパーク、自然な状態で子ども達が遊ぶ公園は、残念ながら、市では検討されていない。
校則	公立中学校の校則について、人権に配慮したものになっているのか。	各学校は同じ校則になっていない。例えば二日市中学校は、以前と違い教職員と生徒会が協議して校則に上げる仕組みに変わっている。今後、文教福祉常任委員会の所管事務調査で取り組んでいく。
歩け歩け運動	歩け歩け運動を天拝湖で開催しているが、針摺から天拝湖まで行く足がない。コミセンの近くまで、歩け歩け運動のコースづくりができないか。	歩け歩け運動は市の主催行事ではなく、シニアクラブ連合会の体育部会の主催行事として行われているので、シニアクラブの方へもご相談いただければと考える。また、市としてはウォーキングマップ(6コース)を作成しているのでお近くのコースをご利用いただきたい。

令和4年5月28日 議会報告会 質疑応答一覧 建設環境委員会所管分

項目	質疑	回答
有害鳥獣対策	山家地区で鳥獣被害が多く、国の事業でネットを入れたが、現実的には全部張れていない。当面はイノシシ対策だが、鹿の害なども出てきている。山家は細長い地域であり、通学路もあるので、人の安全面からも、また、農業面でもプラスになるので、取り組んでもらえないか。	農業面だけでなく人的被害を重点にした新たな観点なので、引き続き議会としても取り組んでいく。
水資源	現在、水の確保はできているのとの事だが、後の人口増に対応できるのか。何か、数値的なものはあるのか。	市の人口は約10万5000人で、必要な水量は22595t。現在確保している水は、28900tで13万8000人分までは足りており、その人数になるのは、かなり先か、日本全体の人口減少を考えると、なかなかその人口までは届かないとの想定なので、十分であると考えている。
産業廃棄物問題	山神ダムの上に、産興の産業廃棄物の不法投棄があった件は県の問題だが、どうなっているか	約20年間、産廃特別委員会でこの問題に取り組み、最後に県に申し入れを行った。県からの最終的な答弁書の要旨は、この問題の責任は県にあるということである。建屋に残されている廃棄物については、県が業者に対し、速やかに撤去するよう指導するとのことで、最近は少し搬出量が増えているがまだ残っている。県の責任において、安全宣言が出るまでは、水質検査を行っていくことを確認している。
	山神ダム上流域で筑紫野市の森林を外国資本が買ったと聞いたが、どのようになっているのか。	市では、水道水源保護条例や緑地保全区域内土地購入要綱などを活用し、森林や水源の保全に努めていく、という答弁がありました。
	県の問題だが、エコセンチュリー21の問題はどうなっているか。	今年1月、業者から県へ産業廃棄物処理施設設置許可申請が提出されている。安全が確保されるよう、常任委員会方でも取り組んでいきたい。
農業用水路	農業用水路が使われる時期だが、洪水などの心配がある。また、水路がオープンになっているが、使われていないときは水が流れず汚い状態。管理について、どうなっているのか。	水路の管理は、地元、市などいろいろあるが、権利がある。水利権があり、止水版を自動で調整するようになっている。水路の蓋については、農業従事者は水路の泥さらいなどをしているが、ふたがあると管理ができない。一方では蓋は、通学路の安全対策の問題もあるため、周辺住民と市と協議しながら管理しているところである。

令和4年5月28日 議会報告会 質疑応答一覧 建設環境委員会所管分

項目	質疑	回答
農業の担い手不足	<p>高齢化による農業の担い手不足、大規模農家も大事だが、組織化をしていくことも必要なのでは。米・麦の価格が安い が、担い手がおらず、自分で作れないので、会社を作って運 営しているが、農家は食料を作るので、非農家を雇用する必 要がある。市道も含めて、農家がボランティアで整備している 部分もある。環境保全、非農家も含めて地域の人たちに草刈 りや用水路の掃除など参加してもらって仕組み作りができない か。</p>	<p>非農家も溝掃除などに参加してもらって取り組みも始めた。県でも担い手の事業が行われて いるが、時代に即していないという問題もある。朝倉市を見ても、農地の多面的な役割とい うものもある。引き続き市民の皆さんと一緒に考えていきたい。</p>